

広島市シニア大学の概要

昨年12月に場所を移転！平成29年度から名称変更し、定員も拡大し、内容も充実！！

名 称 広島市シニア大学・大学院（旧 広島市老人大学・大学院）

開設・運営 社会福祉法人 広島市社会福祉協議会

目 的 健康寿命の延伸と社会参加の推進を目指し、高齢者が新しい知識や教養を身につけ仲間づくりや生きがいづくりを図るとともに、地域社会において福祉活動等のリーダー的役割を果たし、もって高齢者福祉の向上を図ることを目的とします。

内 容

●学習方法 講義形式

●年間講座数 19回（1回90分）

●学習期間 大学：3年間

大学院：2年間（大学卒業後、希望者が進学）

【講 座】

- 大学講座
 - ・市民生活（講座例：「孫育て検定」をやってみよう！）
 - ・健康（講座例：生きがい生活80年～これからのライフプラン～）
 - ・福祉（講座例：ライフワークを考える～65歳からのハローワーク～）
 - ・防災（講座例：広島市の防災対策～みんなが出来る事・地域で出来る事～）
- 大学院講座 地域福祉活動など専門分野の研究促進と、その成果や永年にわたる知識・経験などを地域で活かし、地域のアドバイザーや相談役として多彩に活動できる人材の育成を目指し、講座を設定します。

【活 動】

- 班活動 区を基本に8班編成し、班ごとにまとまって講座を受講したり、学生同士の交流を深めるため、班別懇談会や野外レクリエーション等を行っています。
- 自治会活動 大学・大学院の学生で自主的に運営する自治会があり、会報「きずな」や卒業アルバムの発行、ボランティア活動として平和記念公園の清掃活動等を行っています。また、学生相互の交流を深めるための研修旅行や大学祭も行われています。
- サークル 大学・大学院共通で、絵画、水墨画、書道、写真七宝焼き、リズム体操、民謡、大正琴、社交ダンス、歌謡教室、グラウンドゴルフ、パソコン、遊歩会、詩吟詠、俳句、ウォーキング、ハーモニカ、混声合唱団、ボウリングの19サークルが活動しています。